

令和5年度 農作物病虫害発生予察5月月報

令和5年(2023年)6月1日
山口県病虫害防除所
山口県農林総合技術センター

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平 均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
5.1	17.3	17.3	0.0	23.5	23.4	0.1	11.6	11.4	0.2
5.2	16.7	18.0	△ 1.3	22.1	24.0	△ 1.9	11.3	12.2	△ 0.9
5.3	18.1	18.5	△ 0.4	24.9	24.5	0.4	12.3	12.7	△ 0.4
5.4	20.6	19.1	1.5	27.0	25.1	1.9	15.2	13.4	1.8
5.5	20.0	19.8	0.2	26.4	25.7	0.7	14.1	14.2	△ 0.1
5.6	21.8	20.5	1.3	25.4	26.3	△ 0.9	19.3	15.1	4.2
平均・計	19.1	18.9	0.2	24.9	24.8	0.1	14.0	13.2	0.8
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
5.1	3.0	30.8	△ 27.8	37.4	32.5	4.9			
5.2	150.5	35.5	115.0	32.2	32.5	△ 0.3			
5.3	39.5	37.7	1.8	38.3	33.0	5.3			
5.4	53.5	32.9	20.6	30.2	34.0	△ 3.8			
5.5	0.0	27.4	△ 27.4	45.7	34.0	11.7			
5.6	47.0	29.5	17.5	16.3	38.7	△ 22.4			
平均・計	293.5	193.8	99.7	200.1	204.7	△ 4.6			

II 作物の生育状況

- (1) コムギ : 登熟期間がやや短く、成熟期は平年に比べてやや早まる見込みである。
- (2) カンキツ : 開花は産地や品種によって差がみられるが、やや早いから早い。着果量はほとんどの産地・品種で多い状況である。
- (3) ナシ : 平年比べて生育は早い。一部の産地では4月の降雹による幼果の傷が散見される。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作物

2023年5月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																	
イネ いもち病 (苗いもち) 苗立枯病 もみ枯細菌病 (苗腐敗症) ばか苗病	5月下旬の共同育苗施設(27施設)の聞き取り調査では、下表のとおりであった。 表 共同育苗施設の聞き取り調査結果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病害名</th> <th colspan="2">発生施設率 (%)</th> </tr> <tr> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いもち病</td> <td>11.1</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>苗立枯病</td> <td>3.7</td> <td>2.9</td> </tr> <tr> <td>もみ枯細菌病</td> <td>3.7</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>ばか苗病</td> <td>0</td> <td>0.4</td> </tr> </tbody> </table>	病害名	発生施設率 (%)		本年	平年	いもち病	11.1	1.5	苗立枯病	3.7	2.9	もみ枯細菌病	3.7	1.2	ばか苗病	0	0.4	—	—
病害名	発生施設率 (%)																			
	本年	平年																		
いもち病	11.1	1.5																		
苗立枯病	3.7	2.9																		
もみ枯細菌病	3.7	1.2																		
ばか苗病	0	0.4																		
セジロウンカ	4月1日～5月30日の予察灯(県内3か所)の誘殺数は0頭(平年0.2頭)で平年並みであった。 5月23日～5月31日のネットトラップ(県内3か所)では確認されなかった(平年初確認6月3日)。	—	—																	
トビイロウンカ	4月1日～5月30日の予察灯及び5月23日～5月31日のネットトラップでは確認されなかった(平年初確認日7月8日)。	—	—																	
ヒメトビウンカ (調査ほ場数:17)	下旬のコムギのすくい取り調査では、20回当たり成幼虫数は166.8頭(平年61.2頭)で平年に比べ多かった。	県内全域	—																	
ニカメイガ	4月1日～5月30日の予察灯(県内3か所)では確認されなかった。	—	—																	
イネミズゾウムシ	4月1日～5月30日の予察灯(県内3か所)の誘殺数は6頭(平年10.7頭)で平年並みであった。成虫誘殺ピークは5月5日であった。	県内全域	—																	
コムギ (調査ほ場数:17) 赤かび病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率17.6%(平年17.1%)、発病穂率0.2%(平年0.4%)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.8%(平年35.3%)、発病穂率0.1%(平年1.2%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 275																	
黒節病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.9%(平年4.9%)、発病茎率0.5%(平年0.3%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 92																	

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
コムギ (調査ほ場数:17) うどんこ病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.8%)、発病葉率0% (平年0.4%) で平年並みであった。	県内全域	—
黄斑病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率47.1% (平年31.8%)、発病茎率42.6% (平年24.0%)、発病度13.9 (平年9.2) で平年に比べ多かった。	県内全域	甚 92 中 551 少 92 計 735

2 果樹

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
カンキツ (調査ほ場数:19) かいよう病	下旬の巡回調査では、新葉での発生ほ場率0% (平年2.6%)、発病葉率0% (平年0.1%)、発病度0 (平年0.0) で平年並みであった。	—	—
そうか病	下旬の巡回調査では、新葉での発生ほ場率10.5% (平年2.6%)、発病葉率0.5% (平年0.0%)、発病度0.1 (平年0.0) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 111
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.8% (平年34.8%)、発病花率0.2% (平年1.9%) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 167
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率26.3% (平年10.1%)、寄生葉率5.2% (平年1.6%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	多 56 少 223 計 279
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率47.4% (平年23.8%)、寄生新梢率2.4% (平年1.1%) で平年に比べやや多かった。主要種はユキヤナギアブラムシであった。	県内全域	多 111 少 389 計 500
ナシ (調査ほ場数:15) 黒斑病 (二十世紀ほ場数:9)	初発生は認められていない(平年7月7日)。下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.1%)、発病葉率0% (平年0%)、発病新梢率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—
黒星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率13.3% (平年6.7%)、発病葉率0.6% (平年0.1%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 11 少 11 計 22
赤星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.7% (平年6.7%)、発病葉率1.7% (平年0.1%) で平年並みであった。	県内全域	多 11

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ナシ アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年24.7%)、寄生新梢率0.3% (平年1.2%)で平年並みであった。主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	少 32
ハダニ類	下旬の巡回調査では発生ほ場率6.7% (平年4.7%)、寄生葉率0.1% (平年0.1%)で平年に比べやや多かった。主要種はクロオオハダニであった。	県内全域	少 11
ニセナシサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.7% (平年5.3%)、被害新梢率0.1% (平年1.7%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 11
チュウゴクナシ キジラミ	下旬の巡回調査では発生ほ場率6.7% (平年0.7%)、寄生葉率0.1% (平年0.0%)で平年に比べ多かった。	県内全域	少 11
ナシヒメシンクイ	5月1日～5月31日のフェロモントラップ(萩市小川、下関市豊北)の誘殺数は7頭(平年20.4頭)で平年並みであった。	県内全域	—
キウイフルーツ (調査ほ場数:3) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年33.3%)、発病葉率0.5% (平年3.5%)であった。	下関市	少 1
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカ メムシ、ツヤアオ カメムシ、クサギ カメムシ)	4月25日～5月25日の予察灯(県内3か所)の誘殺数は2頭(平年50.5頭)で平年に比べ少なかった。 5月1日～31日のフェロモントラップ(県内3か所)のチャバネアオカメムシの誘殺数は10頭(平年152.2頭)で平年に比べ少なかった。	県内全域	—

3 野菜

2023年5月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
タマネギ (調査ほ場数：18) べと病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率77.8% (平年40.1%)、発病株率51.6%(平年 19.5%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	甚 51 多 13 少 25 計 89
白色疫病	中旬の巡回調査では、発生は認められず平 年並みであった。	—	—
腐敗病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年15.7%)、発病株率0%(平年0.9%)で 平年に比べ少なかった。	—	—
軟腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.6%)、発病株率0%(平年0.0%)で平年並 みであった。	—	—
さび病、萎黄病、 ボトリチス属菌に よる葉枯れ症(白 斑葉枯病)	中旬の巡回調査では、発生は認められず平 年並みであった。	—	—
ネギアザミウマ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率38.9% (平年49.6%)で平年並みであった。	県内全域	少 49

お問い合わせ先
 山口県病害虫防除所
 TEL (0835)28-1211(代)
 E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp